

# 第二期土浦市 地球温暖化防止行動計画 【概要版】



土浦市地球温暖化防止  
シンボルキャラクター  
「つーちゃん」

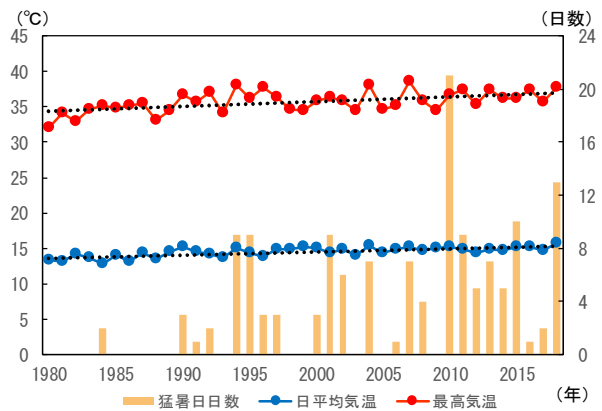
～水と緑 人と人の『環』でつくる低炭素都市を目指して～

## 土浦市の地球温暖化の影響

### 現状

#### • 気温の上昇、猛暑日の増加

土浦市の平均気温・最高気温は、長期的にみると約1.0℃上昇しています。また、1日の最高気温が35℃以上となる猛暑日は、1980年代ではない年もありましたが、2000年代では年間20日を超える年も見受けられ、増加傾向にあります。

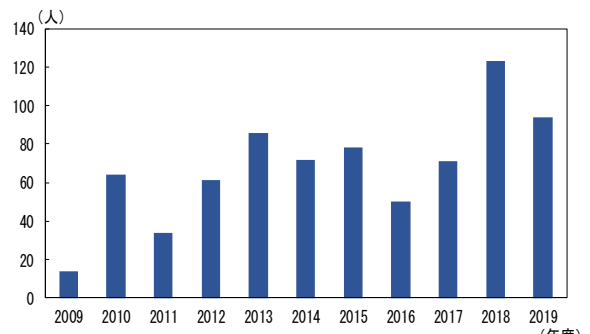


土浦市の年平均気温・最高気温・猛暑日数の推移

#### • 熱中症の増加

土浦市内の熱中症による救急搬送人数は増加傾向にあり、2019年度は95人となっています。

※「猛暑日」には防災無線で注意喚起を行っています。



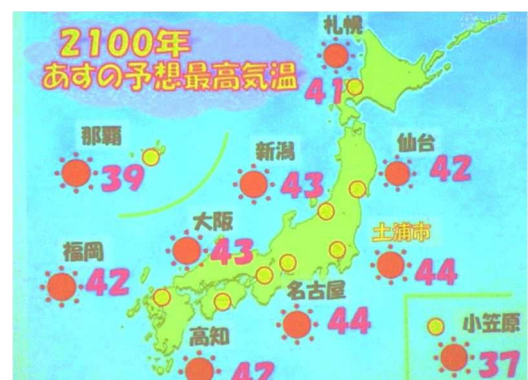
土浦市の熱中症搬送者数の推移

### 予想される影響

#### • 2100年の天気予報

今後、何も対策をとらずに地球温暖化が進んだ場合、2100年の土浦市の最高気温は約44℃になると予想されており、熱中症などの健康被害の増加やスーパー台風の接近で多大な被害が出ると予想されています。

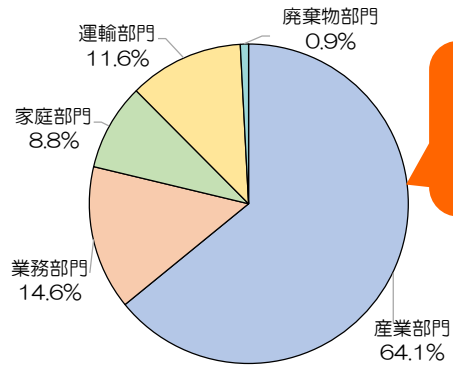
※気候変動に関する政府間パネル(IPCC)のシナリオ[RCP8.5]に基づいた予測です。



# 土浦市の温室効果ガス排出量の現状

No	市町村	排出量 (千t-CO <sub>2</sub> )
1	神栖市	4,006
2	日立市	3,597
3	ひたちなか市	3,029
4	土浦市	2,555
5	古河市	2,541
6	つくば市	2,263
7	水戸市	2,198

県内で4番目に多い

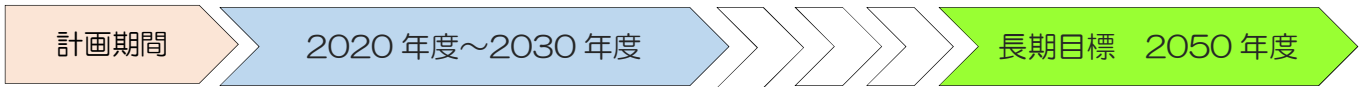


産業部門が約6割を占めている

県内市町村の排出量 (上位7市町村 2016年度)  
※排出量は環境省「部門別CO<sub>2</sub>排出量の現況推計値」を引用しています。

土浦市の総排出量の内訳 (2016年度)

# 土浦市の温室効果ガス排出量の削減目標

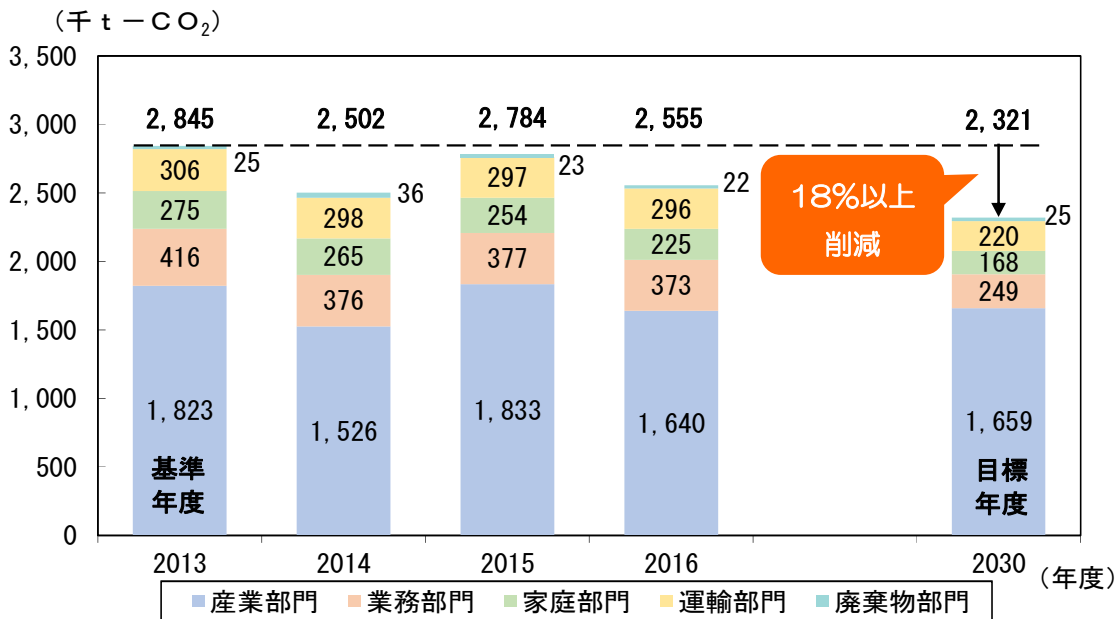


部門ごとに削減目標を定め、2030年度までに総排出量を、2013年度比で**18%以上**削減します。

部門	削減目標
産業部門 (製造業、建設業・鉱業、農林水産業)	9%削減
業務部門 (事務所・ビル、商業・サービス業施設)	40%削減
家庭部門	39%削減
運輸部門 (自動車、鉄道)	28%削減
廃棄物部門 (非エネルギー起源)	現状維持
全体	<b>18%以上削減</b>

6.5%削減
40%削減
39%削減
28%削減
—
26%削減

※対象とする部門・分野、温室効果ガスは「地方公共団体実行計画 (区域施策編) 策定・実施マニュアル」に準拠しています。  
※国の目標となる対象ガスはCO<sub>2</sub>、CH<sub>4</sub>、N<sub>2</sub>O、HFCS、PFCS、SF<sub>6</sub>、NF<sub>3</sub>となります。



土浦市の温室効果ガス排出量の推移と削減目標

※排出量は環境省「部門別CO<sub>2</sub>排出量の現況推計値」を引用しています。少数の計算の関係上、合計値が一致しない場合があります。

長期的には国が掲げる「2050年までに温室効果ガス排出量80%削減」と、最終到達点である「脱炭素社会」の早期実現に貢献すべく取組を継続していきます。

## 緩和策～温室効果ガスの排出を抑制する取組～（4つテーマと9つのカテゴリー）

### 1 最新技術の導入

- ①再生可能エネルギー・エネルギー高度利用技術の導入



### 2 意識の変革と実践

- ②エコライフ・エコビジネスの実践
- ③環境教育の推進
- ④環境対応車の導入・エコドライブの実践
- ⑤ごみの削減・資源化の促進



出典：経済産業省ウェブサイト

### 3 低炭素型のコンパクトなまちづくり

- ⑥建築物の省エネ化
- ⑦公共交通機関等の利用
- ⑧緑化の推進



### 4 協働の環づくり

- ⑨協働の「環」づくり



## 適応策～気候変動による悪影響に備える取組～（4つの部門）

#### 健康 市民生活

熱中症の増加、記録的豪雨によるインフラ・ライフラインへの影響が懸念されます。

#### 主な 適応策

- ・グリーンカーテンの実施
- ・公共施設などでのクールシェア

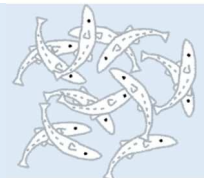


#### 農林水産

農作物や水産物の生育障害・品質低下・収穫量・漁獲量の減少が懸念されます。

#### 主な 適応策

- ・品種の開発
- ・生産基盤の減災



#### 自然災害 水環境

集中豪雨による浸水や大型台風による風水害の増加、土砂災害による急傾斜地の崩壊が懸念されます。

#### 主な 適応策

- ・ハザードマップの活用
- ・浸水想定区域・避難場所の把握



#### 自然 生態系

生態系の変化や特定外来生物の増加が懸念されます。

#### 主な 適応策

- ・自然環境調査の実施
- ・特定外来生物の防除



桜川河川敷での水防訓練



特定外来植物（オオキンケイギク）除去作業

## 私たち一人ひとりにできる取組例

### 「COOL CHOICE」の実践

日常生活で地球温暖化対策に資する「賢い選択」を実践しましょう。



### エコドライブの実施

燃費向上や安全運転にもつながります。省エネモードがある場合は活用しましょう。



### ごみの削減・資源化の促進

ごみになるものはもらわない、ごみを減らす、再利用する、リサイクルするといった「4R」を実践しましょう。



### 省エネ支援サービスの活用

家庭エコ診断や中小企業向けの省エネ診断等を積極的に活用しコスト・エネルギー削減に努めましょう。



### 市民・事業者・行政の取組への参加

地域の清掃活動や環境イベントに積極的に参加し相互に情報の共有に努めましょう。



### 気候変動への備え

熱中症の予防、ハザードマップの確認、地域の避難訓練などに参加しましょう。



## リーディングプロジェクト（重点的に取組む項目）

目標項目	目標値 2030（R12）年度
出前講座受講者数	延べ約 13,200 人以上（R2～R12） 【基準値：1,182 人（H30 の実績）】
エコドライブ宣言者数	2,400 人以上（R12 までの累計） 【基準値：1,197 人（H30 までの累計）】
1 人 1 日当たりのごみ排出量	946 g（R3）※ 【基準値：1,062 g（H30 の実績）】
グリーンカーテンコンテスト・花いっぱい運動コンクール応募数	延べ約 1,650 件以上（R2～R12） 【基準値：141 件（H30 の実績）】
地球温暖化防止啓発人数（出前講座受講者は除く）	延べ約 49,500 人以上（R2～R12） 【基準値：4,500 人（H30 の実績）】

※第2次土浦市ごみ処理基本計画で目標を定めており、現時点では2021（令和3）年度までとなっています。今後策定されるごみ処理基本計画の目標に準じて目標値を更新していきます。

地球温暖化は私たちの生活環境に影響を与える重要な環境問題です。本計画では、世界や我が国の動向を踏まえ新たに削減目標を定めるとともに、温室効果ガスの排出を抑制する「緩和策」に加え、気候変動による悪影響に備える「適応策」についても盛り込み、市民、事業者、行政が協働・連携の下、具体的な施策を継続的に進め「協働型低炭素都市の実現」を目指します。

土浦市地球温暖化防止総合サイト  
「フーチャンネル」



地球温暖化防止に向けた取組や関連情報を紹介しています。

発行 土浦市 市民生活部 環境保全課  
〒300-8686 茨城県土浦市大和町9番1号  
TEL：029-826-1111（代表）  
FAX：029-826-1147